

学習形態 新型コロナウイルス非常事態のためネット上で講義。自学。

テーマ 『教行信証』とは何か。

— 『教行信証』撰述の意図 —

『化身土』・『真仏土』について

課題32 再び、『教行信証』を学ぶにあたっての姿勢。

「報化二土正弁立」（『正信偈』源信僧都の部）

「古今階定」（真宗学用語）

「仏身論」 — 『金剛般若論』・『十地経論』・『攝大乘論』・『智度論』・『佛地経論』等
また天台宗（『法華経』）では「本地無作の三身」と説く。

課題33 『正信偈』における七祖の意味を浄土から見る。そして、何故源信なのか。

- ① 龍樹・・・「証歎喜地 安楽に生ぜん」
- ② 天親・・・「得 蓮華蔵世界に至ることを」
- ③ 曇鸞・・・「必 無量光明土に至れば」
- ④ 道綽・・・「安養界に至りて」
- ⑤ 善導・・・「即 法性之常楽を証せん」
- ⑥ 源信・・・「偏 安養に帰して」「報化二土を正弁立」
- ⑦ 源空・・・「即 寂静無為の楽に入る」

課題34 『教行信証』は何を顕わそうとしたのか。

教巻・・・「謹んで浄土真宗を案ずるに・・・、真実教を顕わさば、」

行巻・・・「謹んで往相回向を案ずるに、大行あり、」

信巻・・・「謹んで往相回向を案ずるに、大信あり。」

証巻・・・「謹んで真実証を顕わさば、」

真仏土巻・「謹んで真仏土を案ずれば、」

化身土巻・「謹んで化身土を顕わさば、」